

第3次苫小牧市総合防犯計画（案）【概要版】

はじめに

- | | |
|----------------|--------------|
| 第1章 計画策定にあたって | 第2章 犯罪の現状と課題 |
| 第3章 施策の体系と主な取組 | 第4章 計画の進行管理 |

第1章 計画の策定にあたって（案1～2ページ）

1 計画策定の趣旨

本市においても、子どもを対象とした声かけ事案や、主に高齢者を狙った特殊詐欺等が、身近なところで発生していることから、これまでの取組を継続しながら、新たな施策を加えた第3次計画を策定する。

2 計画の目標

安全・安心で快適に暮らせるまち とまこまい

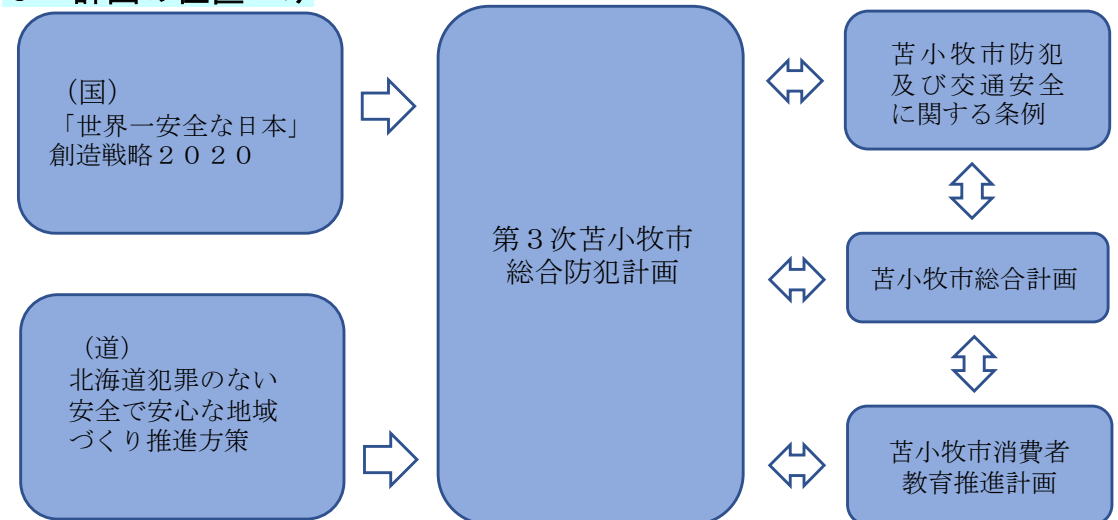
3 計画期間

令和7（2025）年度から
令和11（2029）年度までの5年間

4 計画の対象

犯罪を未然に防ぐ「犯罪の予防」に関する取組とし、市民、事業者と関係機関等が、連携して取り組む。

5 計画の位置づけ



第2章 犯罪の現状と課題（案3～15ページ）

1 刑法犯認知件数の推移

【平成15年】 3,826件 【令和2年】 660件 【令和5年】 929件

平成15年をピークに、令和2年まで減少傾向が続いていたが、令和3年からは増加に転じている。

2 犯罪の現状

■犯罪の種類 ・市内では窃盗犯が最も多い ・窃盗犯の約3割が自転車盗	■交番（派出所）別刑法犯認知件数 ・令和5年は糸井＞美園＞木場＞駅前 ＞沼ノ端北の交番順で件数が多い
■子どもに対する声かけ事案など ・令和4年から減少傾向 ・午後3～5時に道路や公園での発生が多い	■特殊詐欺など ・苫小牧署管内で、令和5年は4件、約1,200万円の被害が発生

3 地域防犯活動の現状

- (1) 自主防犯団体 町内会など、合計76団体が活動中
- (2) ながら見守りタイ！ 令和3年8月から開始



柏木町町内会による防犯パトロールの様子



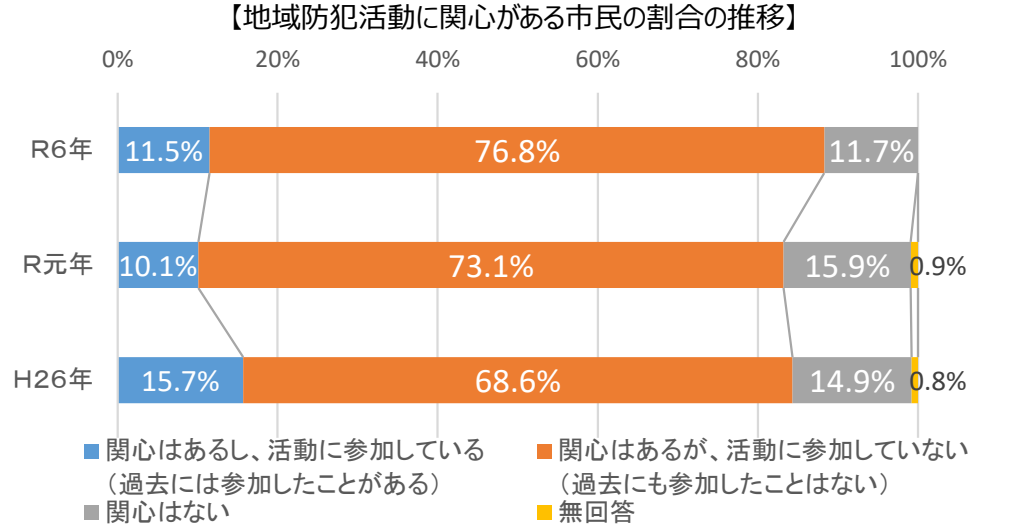
(ウォーキングしながら見守りタイ！)

4 市民アンケート調査

(1) 防犯に関する意識

	令和6年度	令和元年度	平成26年度
常に意識している	53.3%	44.8%	34.9%
どちらかといえば意識している	39.3%	48.9%	51.9%
小 計	92.6%	93.7%	86.8%

(2) 地域の防犯活動



5 安全で安心なまちづくりへの課題

- 課題1 防犯意識の向上
- 課題2 地域における防犯力の向上
- 課題3 安全で安心な環境の整備

第3章 施策の体系と主な取組（案16～25ページ）

1 施策の体系

本計画の目標達成に向けて、今後の防犯施策を推進する際の基本的な視点や主な取組み等について整理する。



歳末地域安全運動市民集会（視点1-2）
集会後に、子どもたちによる「ふれあいコンサート」を開催しました。



防犯リーダー研修会（視点1-3）
苫小牧警察署署員を講師に、市内の犯罪状況と防犯対策等について知見を深めます。

【課題1】
防犯意識の向上



【視点1】
自らの安全を確保するため、市民一人ひとりの防犯に対する関心を高める

① 防犯に関する情報発信

【主な取組】
速報性の高いSNS等、情報発信媒体の多様化

② 啓発活動の実施

【主な取組】
街頭大型ビジョン等を活用した記憶に残る啓発

③ 出前講座の実施

【主な取組】
地域の防犯活動参加を呼び掛ける講座を実施

④ 子ども等への安全対応

【主な取組】
全小中学校での防犯訓練・教室を実施

⑤ 高齢者等への安全対応

【主な取組】
悪徳商法被害を防ぐ啓発・相談活動の実施

※⑥ 外国人との共生

【主な取組】
行政・生活情報の多言語による提供

※ 新規項目

【課題2】
地域における防犯力の向上



【視点2】
みんなの暮らしを守るため、お互いに協力し支え合うまちをつくる

① 自主防犯組織への支援

【主な取組】
防犯資材の貸出、申請手続きの補助

② ながら防犯の啓発・推進

【主な取組】
ウォーキングイベント等での募集活動拡大

③ こどもSOSの家等の実施

【主な取組】
事業所に参加を働き掛け、協力者の増加を図る

④ 空き家相談体制の整備

【主な取組】
所有者に適切な維持管理を求める

【課題3】
安全で安心な環境の整備



【視点3】
犯罪が起きにくいまちをつくるため、環境の安全性を高める

① 防犯カメラの設置

【主な取組】
通学路を中心とした道路と公園への設置を促進

※② 家庭用防犯カメラ等の推進

【主な取組】
住宅敷地内に設置する防犯カメラ等の推進

③ 学校施設的环境整備

【主な取組】
小中学校に防犯カメラを設置

④ 街路灯・防犯灯の整備

【主な取組】
設置費用の補助、不点街路灯の交換

⑤ 良好な公共空間の維持

【主な取組】
死角の減少、見通しを確保する維持管理

※⑥ 犯罪被害者の支援

【主な取組】
関係機関等と連携し支援を実施

⑦ 暴力団の排除

【主な取組】
苫小牧警察署と連携



“見ている目”のぼり（視点2-1）
目のデザインは、人から見られていることを意識させ、犯罪を思いとどまらせる効果が期待できます。



防犯カメラ（視点3-1）
記録データは一定期間保存し、事件発生時に速やかに対応します。

第4章 計画の進行管理（案26～27ページ）

1 推進体制と進行管理

(1) 進捗状況の把握と評価

毎年度活動目標を確認し、進捗状況を管理していく。

(2) 推進体制と進行管理

「苦小牧市防犯のまちづくり懇話会」に報告し、懇話会委員などの意見を踏まえ、次年度以降の施策の見直しを行うなど内容の充実を図る。

2 達成指標

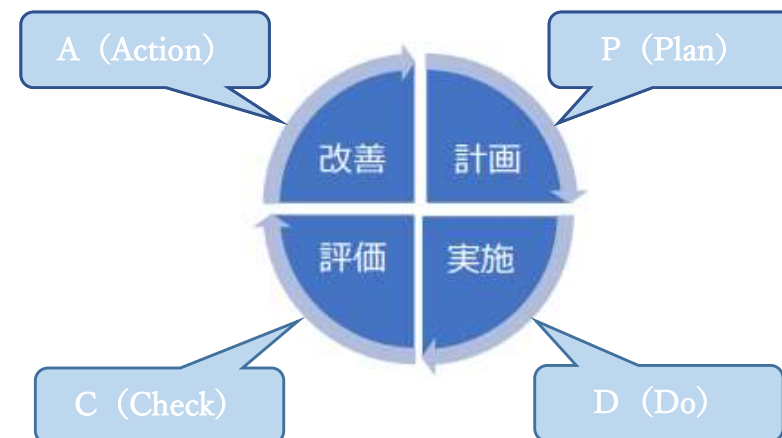
計画期間における目標の達成度を評価する指標を設定

	基準値 (R1)	実績値	目標値 (R11)
【指標1】市内における犯罪認知件数	1,028 件	929 件 (R5)	650 件
【指標2】地域の安全についての市民満足度 (市民アンケート)	14.4%	18.6% (R6)	25%

3 活動目標

主な取組の活動を評価するため、計画最終年度までに達成する目標を設定

	現状値	目標値 (R11)
【目標1】情報発信活動数 (市HP・SNS、啓発活動、出前講座など)	220 回	300 回 以上
【目標2】「ながら見守りタイ！」参加人数	1,100 人	2,000 人 以上
【目標3】防犯カメラ設置台数	26 台	40 台 以上



年度内のスケジュールについて

令和7年1月 パブリックコメント実施済
(12/16～1/16)
庁内連絡会議実施済(1/21)

令和7年2月 防犯のまちづくり懇話会実施
議会へ第3次計画(案)提出

令和7年3月 第3次計画完成版の公表